

# 平成27年度の運営総括及び来期の課題

白根児童センター

開館から8年6か月が過ぎ、この間、多くの利用者とかかわってきました。赤ちゃんの頃から利用していた子どもたちが小学生になり、元気に児童センターに駆け込んでくる姿や、社会人になってからも、立ち寄ってくれる子どもたちを目にすると、子どもたちの成長に寄り添ってきた年月を実感します。卒業、進学で、児童センターに足を運ぶ機会が減る子どももいる一方で、乳幼児連れの新規の親子の来館や、あどけなさが残る新1年生がいろいろな遊びに挑戦する姿など、年度が新しくなると、新たな顔ぶれが児童センターをにぎわせています。学年や学校が違って、遊びを通して子ども同士が時間を共有することで、思いやりの心や譲り合う気持ちを持つなど、心の成長や情操教育にもつながっています。また保育付きで、母親のためのイベントを企画するなど、子育てをサポートする体制が整っており、乳幼児親子にとってもほっとできる場所になるなど、多くの利用者にとっての『居場所』として定着してきたと思います。これからも、利用者の声に耳を傾け、子どもたち、保護者の気持ちに寄り添い、地域の中に根付いた児童センターをめざしていききたいと思います。

## 1. 乳幼児事業

### (1) 総括

乳児を連れて新規で訪れる母親の姿が多く見られました。常連として来館するたびに、子供の成長を共に実感することができました。南区の『子育てオーエンジャー☆みなみ』や『子育て安心ささえ隊 3739』の方々と連携を取りながら、子育てにやさしい南区を実践できたと思います。講座・広場開催を通して、母親同士が情報共有できる仲間づくりに焦点を当ててきました。

#### ① ちびっこ広場

毎週月曜日11時から行っています。絵本の読み聞かせや手遊び、スキンシップ遊び、体操、ミニ工作など、毎回、企画内容を変えて、親子で一緒に楽しんでいます。子どもの成長発見の場にもなっています。ちびっこ広場を通して、ママ同士の情報交換の場になります。また、季節に応じた行事、『七夕まつり』、『ミニミニ運動会』、『ハロウィン』、『クリスマス会』、『お楽しみ会』は大好評です。

#### ② 作って遊ぼう

毎月1回金曜日に行っています。幼児向けの簡単な作品作りに、親子で楽しみながら

取り組んでいます。でき上がった作品は、その場で遊んだ後、持ち帰っています。家庭では触れる機会が少ないはさみを使うなど、指先を使った内容を取り入れています。また、牛乳パック・食品のトレーなど身近にある素材を使って、家でも楽しめる工作も提案しています。

### ③ 保育園児・幼稚園児の交流会

10月『ハロウィン』は白根保育園・白根そよ風保育園・カトリック幼稚園・月潟保育園の年長児が参加しました。他園の子どもたちとグループを組んで、館内に用意されたゲームを楽しんでいました。グループ行動の中で、他園の子どもたちとの交流はもちろんのこと、思いやりの気持ちと自立心が育まれるなど、子どもたちの成長を垣間見ることができました。

### ④ 移動児童館（カプラで遊ぼう！！ 英語で遊ぼう&音楽遊び）

児童館をより広く知ってもらうために移動児童館を行い、保育園・幼稚園を訪問しました。『カプラで遊ぼう！！』は、フランス生まれの積み木を使って、タワーやナイアガラの滝を作り、カプラの楽しさを伝えてきました。カプラは、年齢を問わず楽しめ、子どもたちの創造性を高めることができます。『英語で遊ぼう&音楽遊び』は、音楽に合わせて英語で歌を歌ったり、英語の指示でゲームをするなど、楽しみながら英語に触れてきました。各園から喜んでもらうことができたので、今後も継続していきたいと思っています。

### ⑤ 『白根コミュニティ協議会』との共催事業

7月に『ママのためのやすらぎタイム』を行いました。ヨガや料理・フラワーアレンジメントを体験しました。母子分離の事業で母親自身リフレッシュすることと、母親同士の交流を目的にしています。「子どもから離れて自分の時間をゆったり過ごすことができ楽しかった。」「ほかのママたちと話すことができてよかった」と、講座を終えたママたちの表情は明るくなっていました。

### ⑤ 『子育て安心ささえ隊<sup>みなみく</sup>3739』との共催事業

9月に『リンパマッサージ』の講座を母子分離で行いました。日頃子育てで疲れている体をメンテナンスする方法を教えてもらいました。『子育て安心ささえ隊』のメンバーは、少しでも子育て中のママたちに元気になってもらいたいという思いでいっぱいです。『地域で子育てを応援しています！！』をスローガンにしています。今年度は、補助金を社会福祉協議会からいただいて実施しました。1回の講座しか開催できませんでしたが、来年度はもう少し回数を増やしていきたいとがんばっています。

⑥ 『子育てオーエンジャー☆みなみ』の方々との共催事業

児童センターで『ほっぺちゃんひろば』を年4回開催しました。ハンドトリートメントや絵本読み聞かせ、ピアノ演奏を行いました。ハンドトリートメントは、日ごろの家事でガサガサになってしまった手が、つるつるになり好評でした。ピアノ演奏は、ママたちの心の癒しになり、穏やかな雰囲気になりました。来年度の継続事業になります。南区は、地域の人たちと共に子育てしやすい地域をめざしていることが伝わってきます。

(2) 来期の課題

講座を通して、ママたちから「私たちは、子育てについて学んでいるけど、パパたちにも学ぶ機会を設けてほしい」という声が聞かれます。講座を修了した家族を集めて、同窓会形式の講座を企画していきたいと思います。パパたちも参加しやすいような環境を考えたいと思います。男性からの視線で、子育ての意見交換ができれば楽しいかなと思います。

2. 小学生事業

(1) 総括

子どもたちにとって、児童センターが『居場所』になっています。事業の内容も白根コミュニティ協議会さんから金銭面で協力していただくなど、幅広く行事を実施することができました。地域の課題から、塾や習い事に通えない子どもたちを中心に学習支援に取り組み、安心して学ぶ機会を得ることができました。核家族化で共働きが多く、日々時間に追われて生活している環境の中で、子どもたちにとって、児童館が安全で安心して過ごすことのできる『自分の家』のような感覚が芽生えてきているように感じます。地域の中で子どもたちが健やかに育つ『居場所づくり』を目指したいと思います。

①自主クラブ活動

【ピアノ連弾クラブ】

ピアノ連弾クラブは5年目になりました。職員の指導の下、ピアノに触れて音楽を楽しんできました。12月のラスベックホールでの音楽発表会が大きな目標でした。発表会が近づいても曲が仕上がらず、焦りを感じる子どももいますが、投げ出さず最後まで取り組み、本番には全員がしっかり演奏できました。大きな目標に向かって、お互いを思いやりながら連弾する素晴らしさを体験させることができました。当日、友だち・親戚・両親が見守る中で、ステージに立ち、無事演奏が終わった後の笑顔が印象的でした。

### 【イングリッシュクラブ】

今年度も小学4年～6年生を対象に行いました。白根コミュニティ協議会さんから全面的に協力してもらいました。講師に来てもらい、テキストを使って本格的な指導を受けることができました。4・5年生と6年生の2クラスに分けて募集をすると、あっという間に定員に達してしまいました。4・5年生は英語に親しむ、6年生は簡単な単語を使って話すことを目標にしました。最後に発表会を開いて成果発表を行いました。保護者をはじめ、運営協議会会長さんも見に来てくれました。保護者からも好評で、「来年度もぜひお願いします」と要望がきています。来年度も引き続き開催できるよう、計画していきたいと思います。

### ②子ども会議

イベントを企画するときに、子どもたちに声をかけて、行事の内容を話し合っています。「参加するよりボランティアで企画をしたい」という声が上がることもあります。子どもたちの意見を尊重しながら内容を決めています。時には意見が分裂することもあります。職員が間に入り、子どもたちの自主性を認めるように働きかけています。

### ③その他の行事

広いアリーナを使って、ドッジボール大会・バドミントン大会・バスケットボール大会などを開催しました。チームプレーで仲間同士助け合ったり、勝つために作戦を練ったりしました。勝負ごとになると、子どもたちの本気モードが全開になります。

季節行事『夕涼み会』、『なつまつり』、『ハロウィン』、『クリスマス会』、『お正月お楽しみ会』、『しろねふゆまつり』も子どもたちの意見を取り入れながら行いました。イベントによっては、高齢者の方と触れ合う機会を設けて多世代交流を行いました。

### (2) 来期の課題

子どもたちは、様々な環境の中で日々生活しています。常に子どもの様子の変化を見落とさないように、保護者とのコミュニケーションをとることはもちろん、地域の方々との協力を仰ぎながら、多くの大人目子どもたちを見守っていきます。小学校とも情報交換をしながら、連携を密にしていきたいと思います。

## 3. 中・高生事業

### (1) 総括

中学生は、小学生の頃から長年児童センターを利用している子どもたちが多く、広いアリーナで体を動かしながら職員との会話を楽しみにしています。一年生は、小学生の頃から楽しみにしていた中高生タイム（6時～7時）で、マイシューズ・マイラケ

ットを使って楽しんでいます。中学生でアリーナが専有状態になるくらい、スポーツすることが楽しみで訪れる中高生の人数が多いのも児童センターの特徴だと思います。『なつまつり』、『夕涼み会』の準備を自主的に手伝ってくれる頼もしい姿も見られました。

## (2) 来期の課題

アリーナで体を動かすだけでなく、テスト前に勉強の手助けをするなど、学習支援に積極的に取り組むほか、日々の会話を通して、子どもたちの心に寄り添っていきたいと思います。児童センターに来れば、いつでも相談しやすい大人がいる環境として周知させるためにも、より一層子どもたちとの信頼関係を構築し、『居場所』としての役割を果たしていきたいと思います。

## 4. 地域との連携事業

### ①大風合戦協会との連携事業

- ・白根子ども風合戦の参加

### ②白根コミュニティ協議会との共催事業

- ・イヴニングコンサート&クリスマスコンサート
- ・ママのやすらぎタイム
- ・しろねふゆまつり

### ③白根地区社会福祉協議会との共催事業

- ・高齢者との多世代交流事業『レクダンスを楽しもう！！』

### ④ボランティアさんと連携事業

- ・折り紙教室
- ・なつまつり
- ・しろねふゆまつり ～多数の団体が参加～